

優しい風の吹く街

第27号 2010年 7月発行

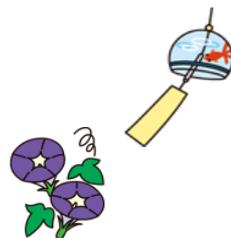


市民ネット宝塚



2010/6/13 宝塚ホテル
前原誠治国土交通大臣と

6月議会は、一般会計補正予算、国保税条例改正、緩和ケア病棟新設により市立病院の病床数を480から446床に改める条例改正、宝塚第一中学校の改築工事契約議案等を可決、自治功労者の認定、農業委員の選任をして終了しました。



活動報告～抜粋～

4月	5月
3日 ななくさ学園開所式	5日 女性議員ネットワーク会議（東京）
4日 体育協会総合開会式	6日 地方自治体議員フォーラム（東京）
8日 小学校入学式	7日 良元コミュニティー総会
9日 中学校入学式	16日 宝塚青年会議所45周年記念式典
9日 議会改革特別委員会第3部会 (4/9・27 5/10・28 6/7)	18日 兵庫教育文化研究所・教育講演会
11日 小浜宿まつり	5月21日 6月定例市議会
18日 小林自治会総会	～6月18日
19日 連合北阪神研修会	
22日 自治体議会政策学会研修会	
26日 トライスポーツ (スナックゴルフ体験)	
29日 神戸朝鮮高級学校・授業参観	
30日 宝塚地区メーデー	



2010/6/23 第16回 市民ネット宝塚 発

『馬尺育議議会』を宝塚ホテルで開催。

- 3月議会の争点と新年度予算 ●6月議会の注目は・・・
- 市民と進める議会改革

『議会改革は進んでいないのではないか』『報酬についての情報がない』『公社土地の売却について』など、厳しい指摘とともに、『土日の議会開会』『交通ネット10ヵ年計画』など、新しい提案もお聞きすることができました。今後の活動に活かしていきたいと思います。

6月定例市議会報告 一般質問及び答弁～抜粋～

1. 子宮頸がん予防について

- ①子宮頸がんの検診率を引き上げる取り組みは。
- ②予防ワクチン接種を促進するための啓発や相談体制、さらに接種後のフォローアップ体制の構築については。
- ③予防ワクチンの公費助成による負担軽減を図るべきでないか。
- ④子宮頸がんは、主に性交渉によって感染・発症することから、ワクチンの有効性を理解するには、人権教育の一環としての性教育が、必要不可欠だと思う。その見解は。



2010/6/2 一般質問

〈市長答弁〉

- ①無料クーポン券を配布し、受診率向上に向け啓発活動を継続していく。
- ②市民が安心してワクチン接種を受けられるよう、副反応に関する情報収集を行い、ワクチンの安全性と有効性に関する見解を、医師、専門機関に確認していく。
- ③子宮頸がん予防ワクチンの公費助成に向けて取り組んでいく。

〈教育長答弁〉

- ④予防ワクチンの接種については、児童生徒だけでなく、教職員や保護者、市民全体が正しく理解し、偏見や誤解が生じないようにすることが大切である。市長部局との連携を図りながら、教職員を対象とした研修などを検討していく。

2. 中学校の進路保障について



- ①2010年度公立高校複数志願入学試験の総括は。
- ②今年度以降の課題は。

〈教育長答弁〉

- ①受検者数は前年と比べ85人の増加。新しい選抜制度導入により、生徒自らの希望、個性や能力等に応じた学校選択が可能になったため、公立高校志望が高まったと受けとめている。複数志願の状況をみると、第一希望校合格が82%、第二希望校合格が15%。目的をもった進路選択がなされたと考えている。
- ②生徒自身が一層目的意識を持ち、主体的な進路選択ができるような進路指導体制を充実させていく。

〈2次質問〉

- ①公立高校不合格者11名から95名と激増した結果について、進路保障はできているのか。
- ②進学も就職もできない「無業者」はできていないか。

〈学校教育部長答弁〉

- ①適切に私立高校との併願をしており、希望する形で別の進路を実現している。
- ②0.76%の子どもたちが、進学も就職もしていない状況が起こっている。

要望

最後の教育のセーフティネットとして、定時制高校の必要性を改めて訴える。不登校や引きこもり等の子どもたちへの支援を卒業後も続けてほしい。

主張

子どもたち一人ひとりの希望する進路の実現に向け、現状をより一層把握し、課題を克服するよう条件整備を求めている。

3. 就学前の子どもの教育と保育の環境整備について

- ①保育所待機児童の現状と、今後の解消にむけての取り組みは。
- ②公立幼稚園の活性化の観点から、就園児童数と地域の保護者ニーズの変化をどう捉えているか。「3才児保育研究」を新たに進める必要があるのではないか。
- ③国においては幼稚園と保育所、認定こども園を、すべて「こども園」として一本化する基本方針がある。ただ、子どもの育ちの最低基準が保障される制度なのかを今後も慎重に議論していくことが求められる。「子どもの最善の利益」のための宝塚市における、よりよい幼保一体化への取り組みについてはどうか。

〈市長答弁〉

- ①平成22年度4月1日現在の保育所待機児童は48人となっている。平成26年度までを計画期間とする「たからっ子育てプラン」後期計画において、待機児童ゼロを目指すこととしており、保育所定員を210人増やすことを数値目標として掲げている。現在、定員90人の新設保育所整備に着手しており、平成23年4月開設を目指している。

〈教育長答弁〉

- ②公立幼稚園の園児数は減少している。就労しながら子育てする家庭や3歳児から幼児教育を希望する家庭が増えてきていることが考えられる。公立幼稚園では、保育所や小学校との連携を図り、研修・研究を深めるなど資質向上に努めている。また、地域の中で「子育てセンター」的役割を果たすなど、活性化を図っている。
- ③本市の就学前の子どもに対する幼保一体化を含めた総合的施策のあり方については、市長部局との連携の中で、早期に検討していきたい。

4. 消費者教育について

- ①私たちが健康で快適な消費生活を送るために、ますます多様化していく「消費生活問題」に適切に対応できているのか。消費者の権利を守る取り組みや消費生活相談の現状と消費者教育の推進は。
- ②学校における消費者教育の推進は。

〈市長答弁〉

- ①消費者生活センターの機能強化を図るため、窓口対応機器等を整備し、相談体制の充実に努めている。消費者教育の充実については、小・中学校のPTAや高齢者を対象とした出前講座を実施しており、夏休みには、地域児童育成会を対象とした出前講座を実施する予定。

〈教育長答弁〉

- ②豊かで安心した生活を送るために、消費者教育は必要であり、学校教育の中でも、取り組むべきことと認識している。文部科学省からも通知が出され、各学校にも通知した。今後も消費者教育の推進に努めていく。



活動トピックス



2010/4/3 「ななくさ学園」

阪神6市1町の阪神福祉事業団が運営する知的しょうがい児施設「ななくさ学園」は、老朽化し、大変ひどい状況でした。関係者は環境改善のための移転を強く要望してこられ、私も一般質問でとりあげて改善を訴えてきました。

このたび西宮市田近野町に移転改築がかない、開所式が行われましたので、阪神政策研究会メンバーで見学に行ってきました。

訓練や相談のスペース、個室の完備やパブリックスペース、清潔な食堂、ショートステイのための部屋や自活訓練棟も整備。建物は屋上緑化、壁面緑化、などエコでいっぱい。明るい施設で明るい気持ちで自立にむけて頑張ってもらいたいです。



2010/4/25

「フラワー都市交流・各都市の方々と」



「一人でも多くの新しい 2010/5/5
女性議員の誕生をめざして」

「女性議員ネットワーク会議」には、女性議員が国政で取り組んでいる課題を現場で学び、現職議員はスキルアップ・新人は意欲をもって今後の活動の指針を得る研修として参加します。

兵庫県からは議員と議員をめざす方や関係者で参加しました。小宮山洋子衆議院議員からは、男女共同参画基本方針の第3次改定版の策定途中経過について説明を受け、質問や意見交換もありました。

交流会では、円より子参議院議員から、政治スクールの興味深いお話を聞くことができました。他の地方議員との情報交換も有意義でした。



2010/5/29「みずおか俊一 女性キャラバン」

～風のココロ～

前市長の収監と現職市議会議員への辞職勧告の報道が重なった宝塚市。「信頼回復」のために、私は私らしく頑張るしかありません。

◇発行人◇ 北野さと子

◇連絡先◇

〒665-0034 宝塚市小林2丁目 12-27-209

Tel&Fax 0797-73-4556

ホームページ <http://www.kitanosatoko.com/>